

感震ブレーカーの設置と併せた消火対策が、被害を効果的に抑えます。



地震による火災の防止に有効な対策は

👉 火災を発生させないために…



- A 観賞魚用ヒーターの空焚きで出火
- B 損傷した電源コードから出火
- C カーテンが電気ストーブに落下し出火

- A 観賞魚用ヒーターからの出火を防止
- B 損傷した電源コードからの出火を防止
- C カーテンが落下しても出火しない

👉 万が一、火災が発生したら…



1 火が小さいうちに初期消火するには…
住宅用火災警報器で早期発見

- ・熱や煙を検知し警報音が鳴ります。
- ・経年劣化するので設置から10年で本体を交換しましょう。

2 火災を発見したら…
消火器等で初期消火

- ・消火器を自宅に備えましょう。
- ・火が小さいうちに消火器やふる水で消火。
- ・姿勢は低く。出口に背を向ける。
- ・すぐ避難できるように出口は開けておく。避難時は閉める。



お問い合わせ先
東京都出火防止対策促進事業コールセンター
0120-888-289 受付時間：平日及び土曜日の9時から18時まで
(日祝日及び令和5年12月29日から令和6年1月3日までを除く)

地震発生時、

建物火災の原因 約 **6** 割は 
電気による出火です

震度5強相当の地震を感知し、電気を自動で遮断



かん しん
感震
ブレーカー
設置していますか？



地震による電気火災は 事前の備えで 減らせる災害!



地震による火災の約6割は
電気火災が原因とされています。

電気火災とは、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や停電からの復旧時に発生する火災のこと。特に避難した後、人がいない状態で停電から復旧した場合が危険です。

大規模地震時における火災の発生原因
※大規模地震時の電気火災の発生抑制に関する検討会報告書について(概要)

電気火災の事例(その1)

地震で本棚が倒れ、雑誌が電気ストーブ周辺に散乱

停電した状態から通電し、ストーブが作動

紙類に着火、火災が発生



電気火災の事例(その2)

家具が転倒し、「電気コード」が下敷きや引張で損傷

通電の瞬間、コードがショート

散乱した室内で、近くの燃えやすいものに着火



こうした機器も電気火災の原因になります!



白熱灯

転倒・落下などで接触した可燃物に着火

観賞魚用ヒーター

水槽が転倒し、ヒーターが接触した可燃物に着火

もし今、東京に地震が発生すると...

現在の東京で都心南部直下地震が発生した場合、火災による被害は...

焼失棟数 約120,000棟

死者 約2,500人

負傷者 約10,000人

※「首都直下地震等による東京の被害想定」(令和4年5月)

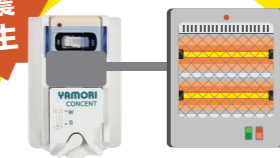
地震による電気火災を少しでも防ぐには!

避難の前に電気のブレーカーを落とすことが大切!とはいえ、実際の避難時には忘れてしまう可能性も...
そこで、地震発生時、自動的に電気を遮断する

感震ブレーカーの設置が有効です!

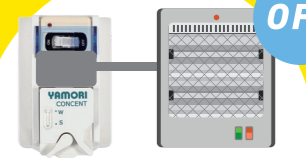
我が家を電気火災から守ることが、地域全体を守ることにもつながります。

地震発生



感震ブレーカーのセンサーが地震を検知

OFF



自動的に電気供給を遮断

感震ブレーカーには様々なタイプがあります。

タイプ	コンセント型		簡易型	分電盤型	
	特定機器遮断型	一括遮断型		内蔵型	後付型
イメージ					
特徴	内蔵されたセンサーが揺れを検知し、設置したコンセントからの通電を遮断	センサーが揺れを検知し、疑似漏電を発生させブレーカーを切ることによって通電を遮断	ばねの作動やオモリの落下によりブレーカーを切ることによって通電を遮断	内蔵されたセンサーが揺れを検知し、主幹ブレーカーを切って通電を遮断	分電盤に感震センサーを後付。分電盤に漏電ブレーカーが付帯している場合に設置可能
遮断範囲	選択した機器のみ	屋内全ての電気供給			
設置工事	不要	必要	不要	必要	
遮断までの時間	なし	あり・なし ※製品によって異なる			あり(3分程度)